

第51回北海道景観審議会で継続課題となっている歴史的建造物と道の景観施策について

## 第53回 北海道景観審議会

令和5年(2023年) 8月2日開催

北海道建設部まちづくり局都市計画課

# 歴史的建造物と道の景観施策について

・第51回北海道景観審議会では、「再生可能エネルギー施設と道の景観施策」についてともう一つ「歴史的建造物と道の景観施策について」が議論され、継続課題とされており、前回第52回審議会では議論の概要について、説明していなかった為、今回ご説明します。

## 事務局説明

北海道景観形成ビジョンについては平成31年3月に改訂したところ、その中で基本方針1として、関連施策との連携により目指す良好な景観づくりとしまして、観光振興に繋がる景観づくりというものが挙げられています。その中で北海道遺産構想の推進などによる北海道の歴史や文化を生かした景観作りを促進します、景観資源の維持・保全・再生などをうたっております。

また、文化的・歴史的建造物の維持・保全・再生や史跡、名勝、天然記念物などの文化財の保存・活用による景観づくりを促進するといったことを掲げております。北海道の歴史や文化を生かした景観づくりとして、文化的歴史的建造物の維持・保全・活用について御意見をいただきたいと思っております。

そのほか、道内の取り組み事例として函館市と江差町の事例を紹介。

# 歴史的建造物と道の景観施策について

## 委員意見等 ①

- ・歴史的建造物の実態が景観施策に対して生かされているのかいないのかという話は、あんまり上がってきません。審議会でも、最近それほど話題に上がってきていません。
- ・各市町村長の意思の度合いによって保存するか解体するかという形になってくるので、そこら辺を、金銭的にも、北海道や国がどう保全・バックアップしていくのかというのも非常に重要。
- ・金銭的なバックアップを北海道が出来るかというのも課題でしょうし、重要な建造物であるかという評価を誰がするかということ。国交省が例えば重伝建地区に指定するというところまで行けば、それはもうお墨付きが出るわけですが、もっと手前の話で、その町にある倉庫が一つ残ったとしたら、それはどうなのだという話です
- ・北海道の景観形成ビジョンの、歴史的建造物の維持・保全・活用はすごく難しい話で、お金という部分について、利活用ができなければやっぱりお金を投入することが難しい。利活用と考えたときには、地震で崩れてしまう建物が多いので、それを耐震補強することを考えるとまた莫大な費用がかかる。

# 歴史的建造物と道の景観施策について

## 委員意見等 ②

- ・一つの建造物の歴史的な価値がどうかという評価もあるけれど、その地域全体として、その歴史的な建物群があることによる価値というような見方も非常に大事。
- ・建物の歴史的価値などを評価できる人が増えていけば、物としての価値が定義づけられて、それがひょっとしたら保存という方向に向かうかもしれない。直接お金をかけて保存をして耐震補強もして、それで活用を考えて何回も使っていく、それもあるけれど、ヘリテージマネージャーという仕組みによって社会全体で建造物の価値を評価するようなコンセンサスが作っていきけるような人材を育成するということも必要。